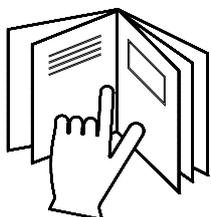
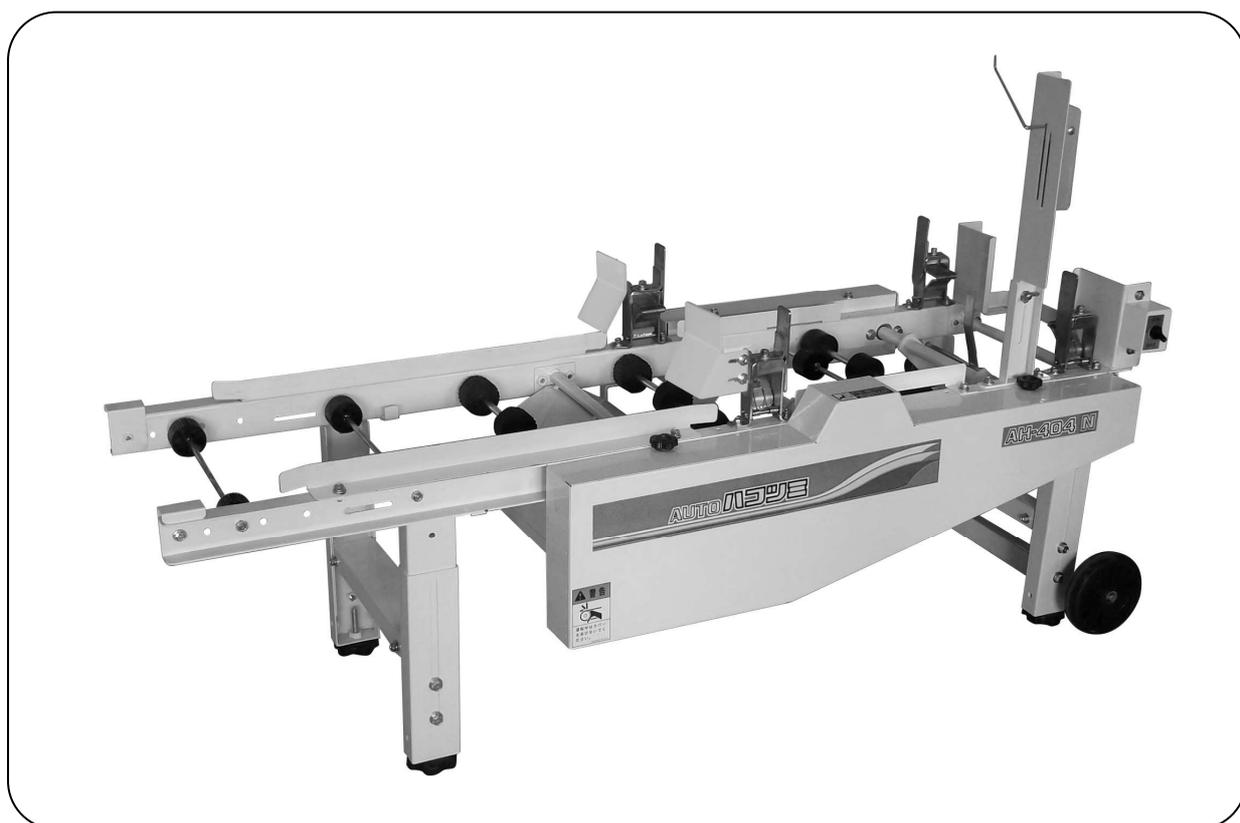


ご使用前に必ず播種機の取扱説明書と合わせてお読みください

# AUTOハコツミ

## AH-404N

### 取扱説明書



- 使用するまえに必ずこの取扱説明書を読んでください。
- この取扱説明書はいつでも取り出して読めるように保管してください。

# はじめに

- この度は、AUTOハコツミをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
- この説明書は、AUTOハコツミを使用する際に是非、守っていただきたい安全作業に関する基礎的事項、AUTOハコツミを適切な状態で使っていただくための正しい運転・調整・整備に関する技術的事項を中心に構成しております。
- AUTOハコツミを初めて運転される時はもちろん、日頃の運転・取扱いの前にも初心に立ち返り入念に読み、十分理解され安全・確実な作業を心がけてください。
- この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように保管してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買いあげいただいた販売店・JAにご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部がAUTOハコツミと一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- もし、おわかりのならない点がございましたら、ご遠慮なくお買いあげいただいた販売店・JAにご相談ください。
- 取扱説明書の中の下記表示は、安全上、取扱上の重要なことを示しております。よくお読みいただき、必ず守っていただくようお願いいたします。

表 示	重 要 度
 警 告	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示しております。
 注 意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示しております。
 重 要	製品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。よく読んで製品の性能を最大限発揮してご使用ください。



## 安全作業をするために

- ◆ 服装はキチンと身体に合ったものを着用してください。
- ◆ 機械周辺の作業通路を確保してください。
- ◆ 電源コード関係につまずかないよう周辺はキチンと整理整頓してください。
- ◆ 機械の据え付け場所は水平なところを選んで作業を行ってください。
- ◆ 機械の作業通路内には、作業に関係のない人は入らないように注意してください。特に子どもは危険の為周辺では遊ばせないように注意してください。
- ◆ 運転は周囲の安全を確かめてから開始してください。二人以上で作業をするときは、互いに合図を交わし作業を行ってください。
- ◆ カバー関係は全て取り付けて運転してください。また運転中はカバーを絶対に取り外さないでください。
- ◆ 運転中は回転部周辺へ手を入れないでください。
- ◆ 各部の掃除・点検や異常・故障の処理をする場合は、電源プラグを抜いてから行ってください。
- ◆ 機械は改造しないでください。

AUTOハコツミの一連作業で起こりやすい事故を未然に防止し、安全に作業をするための注意事項を記しました。

詳細は本文の中で  印の安全注意マークを付しておりますので、よくお読みいただいて事故のないようにしてください。

## ⚠ ラベルについて

安全な取扱いについて説明している「ラベル」を機械に貼付しています。

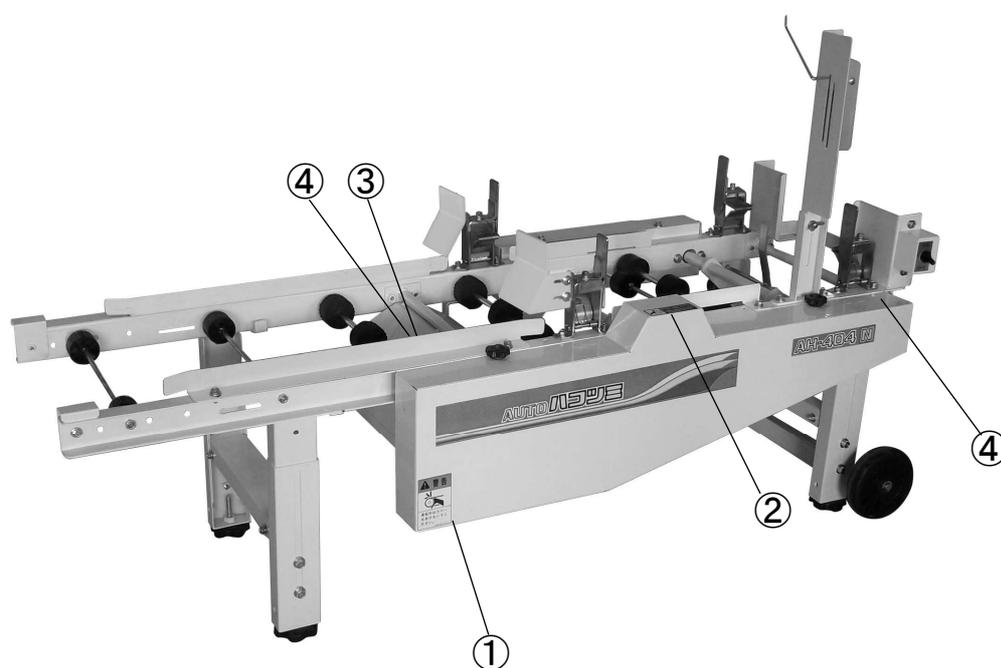
ご使用前にラベルをすべて読んでください。

機械に貼っているラベルが破損したり、なくなったり、汚れがついたり、または読めなくなったら、新しいラベルに貼り替えてください。

ラベルがついている部品を交換するときは、新しいラベルも一緒につけてください。

ラベルは機械のお買いあげ先に注文してください。

### 「ラベルの位置と内容」



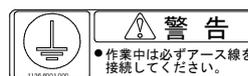
#### ①ケイコクステッカー（ベルト）



#### ②ケイコクラベル（カイトン）



#### ③アースマーク



#### ④チュウイマーク（ミズ）



# も く じ

は じ め に

⚠ 安全作業をするために

⚠ ラベルについて

## ご使用まえに

- 1 「機械番号」について ..... 1
- 2 「用語」と「マーク」について ..... 1

## 運転まえの準備

- 1 取付部品 ..... 2
- 2 「仕様」について ..... 3
- 3 播種機部品の取外し ..... 3
- 4 部品の取付け ..... 4
- 5 各部の調整 ..... 5

## 運転のしかた

- 1 作業方法 ..... 7
- 2 作業をする際の注意事項 ..... 8

## 注 意

## AUTO ハコツミの配線図

## 作業後の手入れ

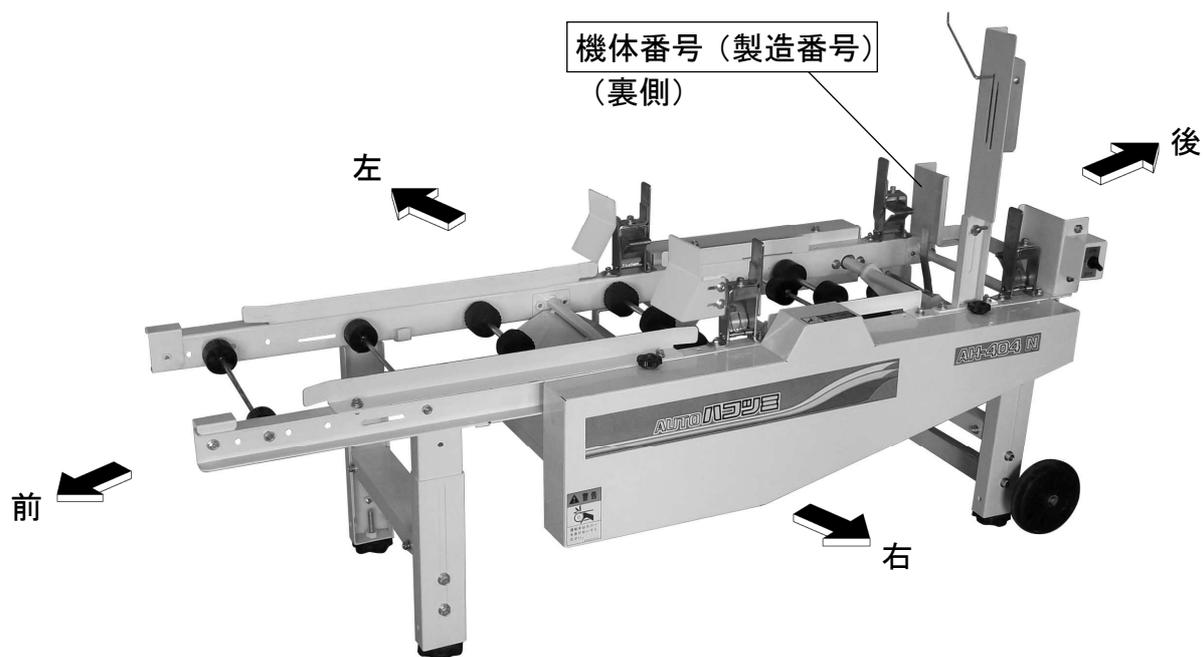
## 不調の発見と処置

お客様へ

# ご使用まえに

## 1 「機械番号」について

このAUTOハコツミには「機械番号」が図示のところに表示してあります。  
サービスについてのお問い合わせや、部品などのご用命のときには「お買いあげ先」に「型式」  
「機体番号（製造番号）」も合わせてお知らせください。



## 2 「用語」と「マーク」について

この取扱説明書で使用している「前・後・左・右」などの「用語」は、図示のように決めております。またこの取扱説明書では、そのつど守っていただきたいところに下記「マーク」を使用しております。

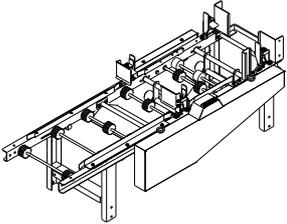
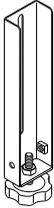
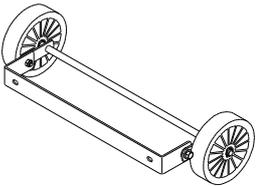
<p> <b>安全のポイント</b></p> <p>◆ 重要な安全事項について説明しています。守らないと人身事故の危険性がありますので、必ず読んでください。</p>	<p><b>取扱いのポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 機械の性能を最大限に発揮するための説明をしています。守らないと本来の性能を発揮できません。また故障の原因になることがあります。</li></ul>
---	--

# 運転まへの準備

## 1 取付部品

この梱包ユニットは運送中や保管中のダメージ（損傷）を避けるため、工場で細心の注意を払って梱包しています。下記の項目に注意しながら開梱してください。

- ① 荷箱からそれぞれの部品を取出します。
- ② 下記の部品があることをチェックします。

No	部品名称	個数	取付部品と数量	外観形状
1	ハコツミホнтаイ	1		
2	スタンドB	4	大平座金付ボルト (M8×16) … 8 個	 ※ノブボルト付 (M10×45)
3	ストッパカナグ	1	チョウボルト (M6×16) … 1 個 Sワッシャ (M6) …… 1 個 ワッシャ (M6×φ22) … 1 個	
4	セットカナグ	2	大平座金付ボルト (M6×16) … 2 個	
5	キャスターCOMP	1	平座金付ボルト (M8×16) … 2 個	
6	センサ中間デンセン	1		

## 2 「仕様」について

名 称	AUTOハコツミ	
型 式	AH-404N	
播種機の適用播種能力	200枚～400枚/時	
送り込み能力	播種機に準ずる	
最大積上げ能力(枚/時)	50Hz・・・400	60Hz・・・500
積上げ能力(最大枚数)	苗箱で10枚(重量60～65kg以内)	
全 長(mm)	1,385	
全 幅(mm)	514	
全 高(mm)	833～1,041	
重 量(kg)	41	
動 力	出力100Wギヤードモータ/単相100V	
減 速 比	1/50	

## 3 播種機部品の取外し

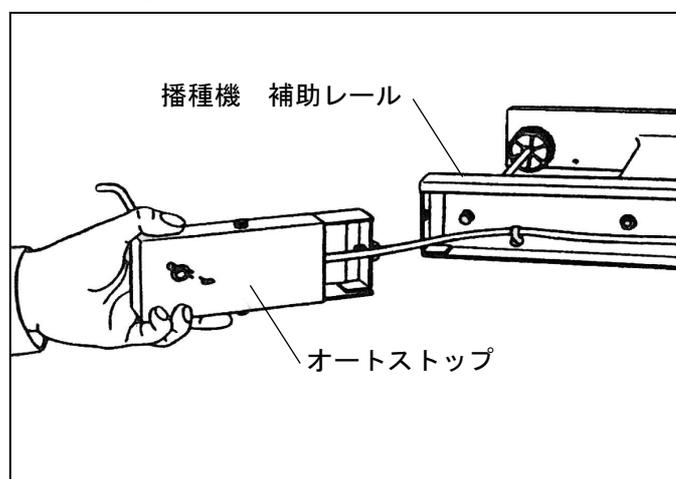


◆播種機部品の取外す時は、機械を平坦な場所に置いてから行ってください。

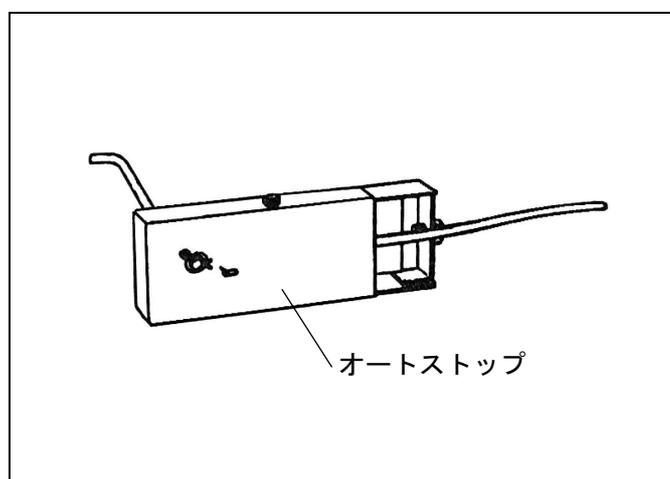
### 取扱いのポイント

●播種機の補助レールにオートストップが付いている場合はオートストップを取り外します。

〈取外す箇所〉



〈取外した部品〉



## 4 部品の取付け

- ① ①ハコツミホンタイに②スタンドBを前側と後側にそれぞれ取付けます。

[ 大平座金付ボルト (M8×16) …… 8 個 ]

### 取扱いのポイント

- スタンドBの上面をイチギメマークのラインに合わせて取付けてください。  
播種機との搬送高さが合うため、微調整でセッティングすることができます。

- ② ①ハコツミホンタイに③ストッパカナグを取付けます。

[ チョウボルト (M6×16) …… 1 個  
Sワッシャ (M6) …… 1 個  
ワッシャ (M6×φ22) …… 1 個 ]

- ③ ③ストッパカナグに、あらかじめ播種機より取り外しておいたオートストップを取付けます。

### 取扱いのポイント

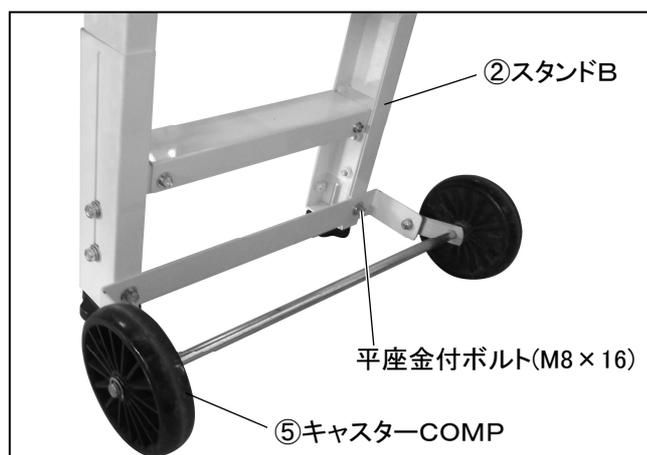
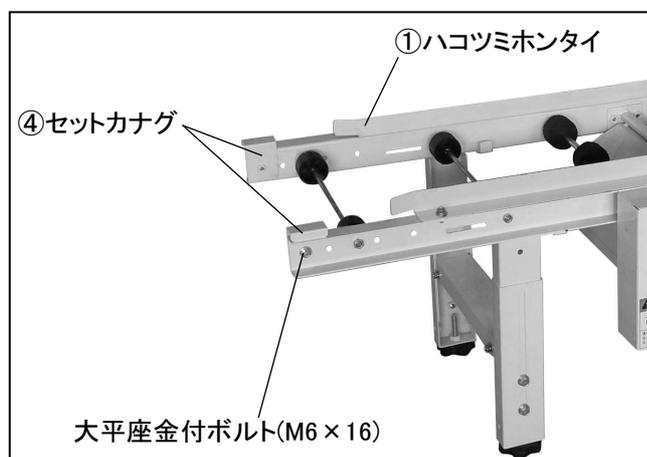
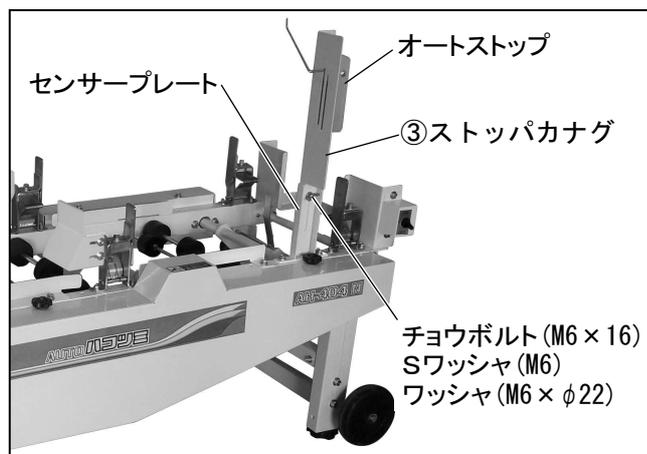
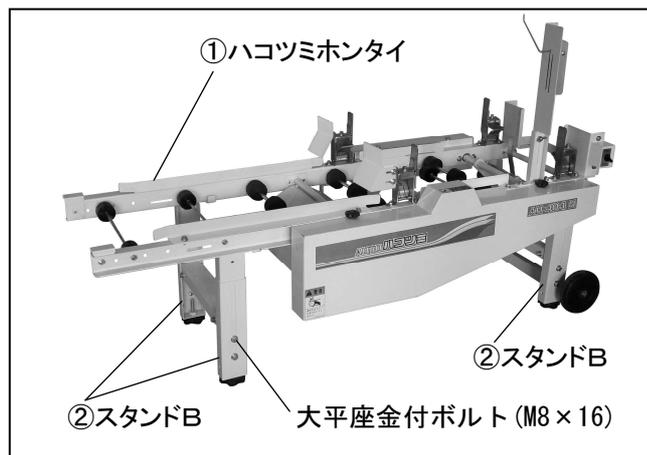
- 出荷時センサープレートは、右側にセットしてありますが作業内容に応じて左右どちらでも取付けることができます。
- オートストップは年式によってレバーの位置が異なりますので、取り付く様にどちらかの長穴へ差し込んでください。

- ④ ①ハコツミホンタイに④セットカナグを左・右側へそれぞれ取付けます。

[ 大平座金付ボルト (M6×16) …… 2 個 ]

- ⑤ ②スタンドBに⑤キャスターCOMPを取付けます。

[ 平座金付ボルト (M8×16) …… 2 個 ]



## 5 各部の調整

安全のポイント

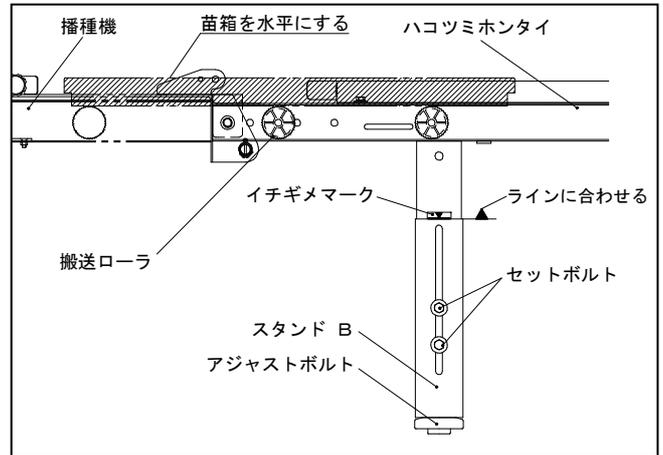
◆調整作業をする時には、機械を平坦な場所に置いてから行ってください。

### 1 搬送部高さの調整

#### 取扱いのポイント

- 苗箱が水平になるよう調整することにより、苗箱をスムーズに搬送することができます。

苗箱が水平になるようハコツミホントイのスタンドBとアジャストボルトで播種機の搬送面の高さに合うまで高さを調整します。



### 2 搬送部ガイドの調整

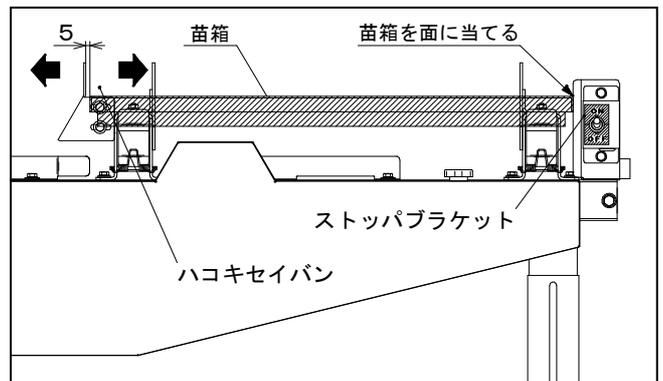
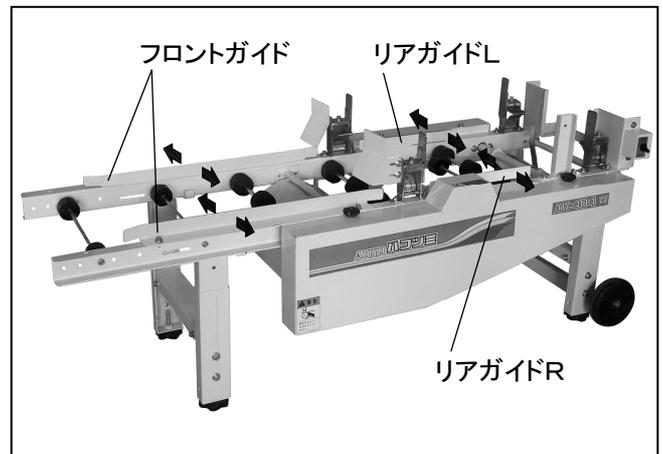
#### 取扱いのポイント

- プラスチック及び木製の苗箱を併用しての作業は、トラブルの原因になりますので絶対に行わないでください。

- ①フロントガイド・リアガイドR・リアガイドLの調整は、苗箱ができるだけ均等に中心になるようそれぞれのガイドを矢印(◄►)方向に調整します。

調整の際は、それぞれのガイドと苗箱の隙間を目安として左右2～3mmずつ広めになるよう調節します。

- ②苗箱をストップブラケットに当てて、ハコキセイバンと苗箱の隙間が5mm程度になるよう矢印(◄►)方向に調整します。

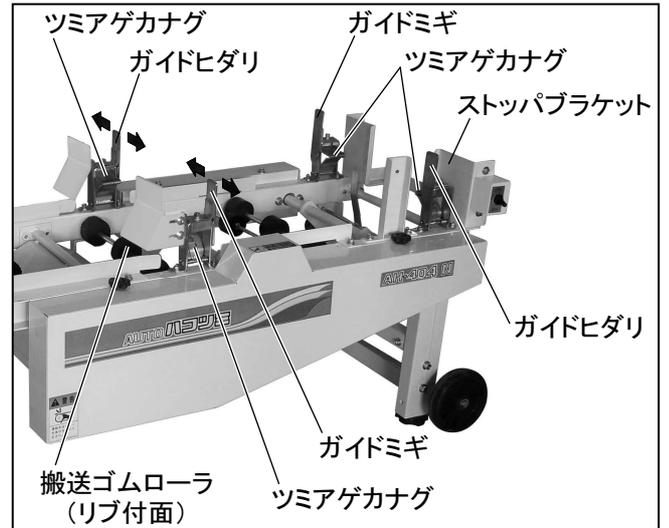


### ③ 積み上げガイドの調整

#### 取扱いのポイント

● 苗箱が垂直にキチンと整列して積み重なるよう、各々の調整部品を苗箱に合わせてから作業してください。

- ① 苗箱の幅に合わせてツミアゲカナグ(4箇所)を調整して、苗箱の底面がツメ部に確実に乗るようにします。
- ② ガイドミギ・ガイドヒダリで苗箱がキチンと積み重なるように幅を左右それぞれ苗箱の縁より2～3mmの隙間になるよう矢印(↔)方向に広めに合わせます。



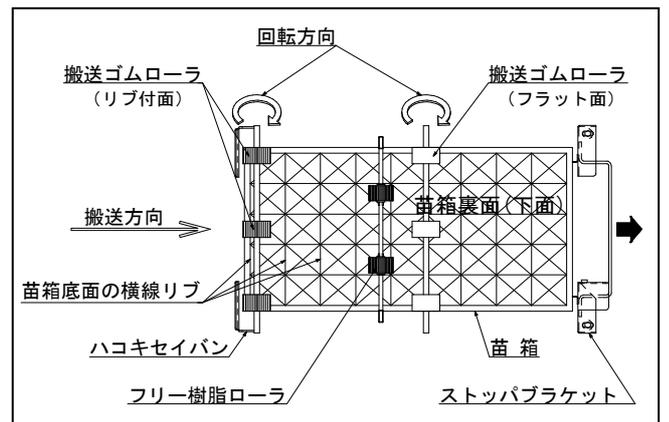
### ④ ゴムローラと苗箱裏面リブの異常音の調整

#### 《調整のしかた》

● ストップブラケットを矢印(➡)方向に若干移動(2～3mm)することにより、苗箱の横線リブがズレて、異常音又は振動が止まります。

#### 取扱いのポイント

● 苗箱裏面の横線のリブが、搬送ゴムローラ(リブ付面)のリブと一致した場合、異常音が発生し苗箱が振動する場合があります。

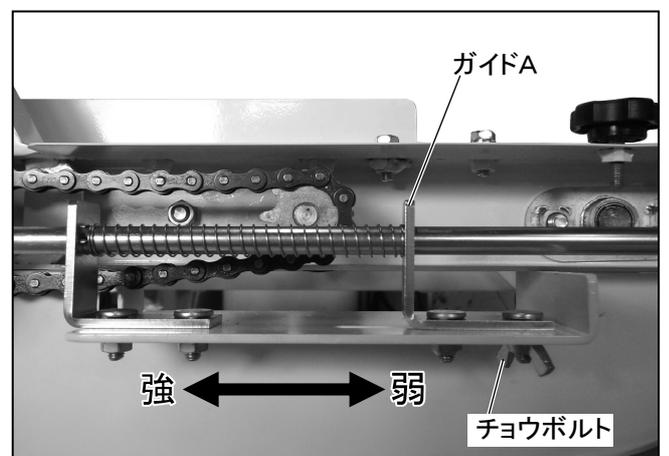


### ⑤ クラッチ部のバネの調整

播種作業を終えた苗箱1枚を一度積み上げ、苗箱が終端部に当たった時に苗箱の中の土が寄らないか確認してください。  
寄る場合には、チョウボルトを緩めガイドAを弱から強へ徐々に動かして土が寄らない様に調節してください。

#### ▲ 注意

● ガイドAを一度に大きく動かしたり、又は必要以上に強の方向へ動かすと、バネに押し戻された苗箱がハコキセイバンに挟まり危険です。絶対に行わないでください。



# 運転のしかた

## 1 作業方法

①AUTOハコツミのアース線は確実にアースを行ってください。（D種接地工事相当）



安全のポイント

◆アース線の接地を行わないと感電の恐れがありますので、確実にアースを行ってください。

②AUTOハコツミの電源プラグは、単相100Vのコンセントへ単独に差し込んでください。

### 重要

- コードリールを使用する場合、巻いてあるコードは全て引き出してから使用してください。
- 1つの電源で播種機（他、床土入機、用土供給機）等と併用しての使用は絶対にしないでください。
- 電源プラグは、必ず電源スイッチが「OFF」になっている事を確認してから差し込んでください。

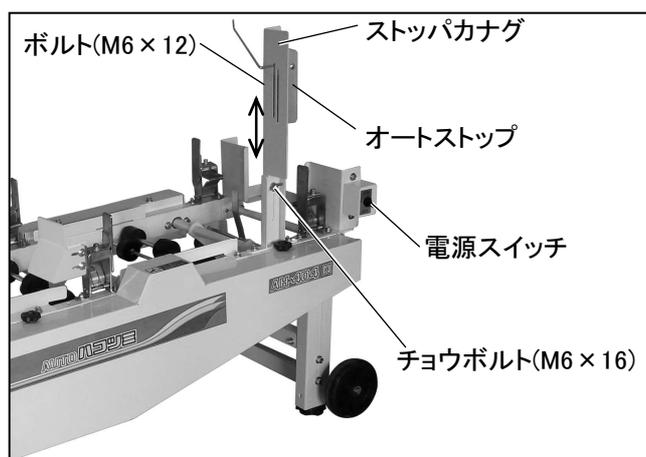
③電源スイッチをONにします。

④播種機を運転します。  
（播種機の取扱説明書に従い運転してください。）

⑤ボルトとチョウボルトを緩め、ストッパカナグとオートストップを上下させて積み上げ枚数を5～10枚に調整してください。

### 注意

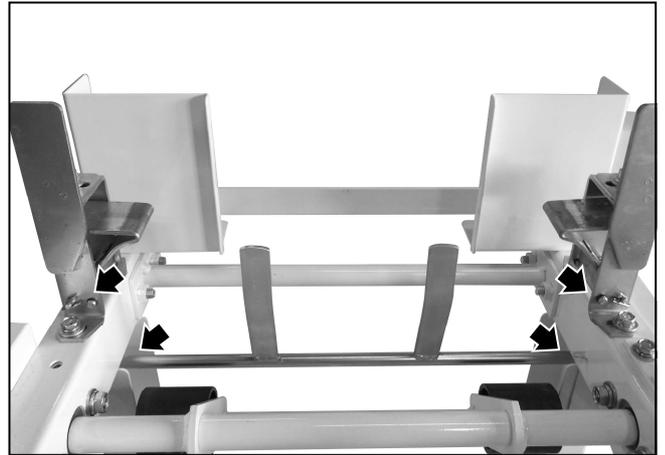
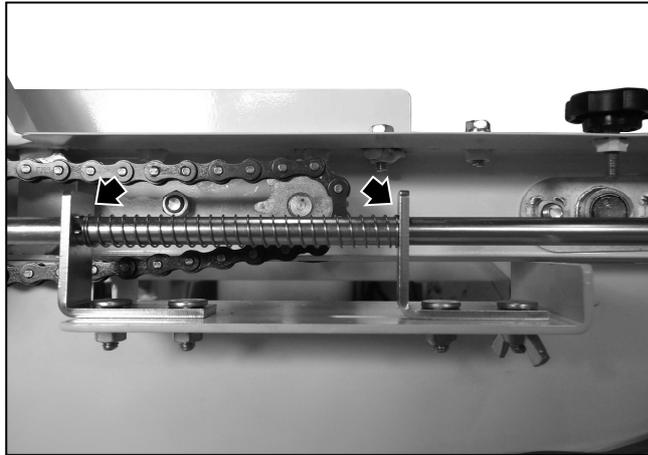
- 積み上げ枚数は最大で10枚、重量換算で約60～65kgです。  
能力以上の枚数の積み上げは、機械の故障やケガの原因になりますので絶対に行わないでください。



## 2 作業をする際の注意事項

### 重要

- 注油の際は、電源プラグをコンセントから抜いて作業をしてください。
- 作業を始める前に1回、作業中にも1回以上（合計1日2回以上）を、各軸受け、チェーン、クラッチ部及び矢印部（▶）に注油してください。



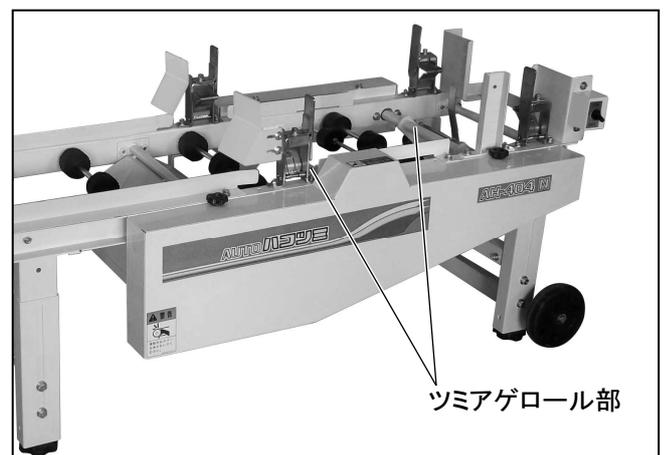
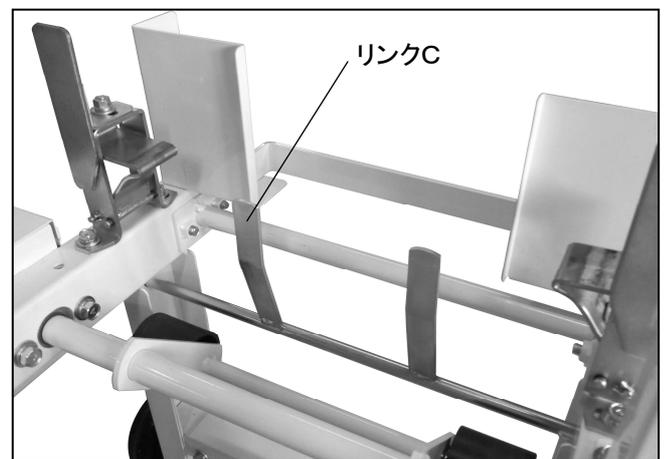
①リンクCを不用意に触らないでください。



◆運転中はリンクCをうっかり手などで押ししたりしないようにしてください。

②リンクCのメンテナンスについて  
土がいっぱい付いた時は、土を落としてから使用してください。その際は、電源プラグを必ずコンセントから抜いて作業してください。

③ツミアゲロール部に手を挟み込まないように注意してください。



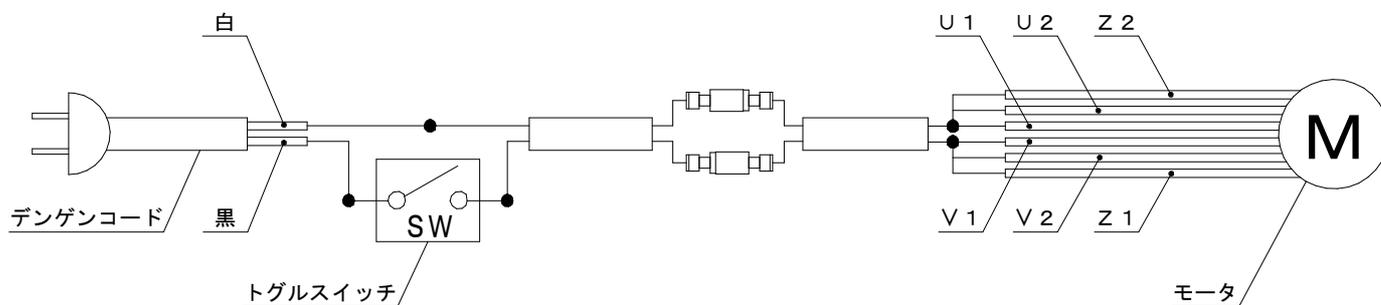
# 注 意



安全のポイント

- ◆ 苗箱の幅が著しく広狭のあるものは使用しないでください。  
(適正使用範囲 300~305mm)
- ◆ 苗箱の高さが著しく高いものは使用しないでください。  
(適正使用範囲 30~40mm)
- ◆ 播種作業での積上げは5~10枚まで(積上げ量は最大60~65kgとする)自由に調節できますが、苗箱は樹脂製で特に強度の弱い箱、苗箱の縁の強度が弱い箱、木製で変形の著しいものやもろくなっている箱は故障の原因になりますので使用しないでください。
- ◆ 播種作業での積上げは、苗箱の取り出し時十分注意して安全作業をしてください。
- ◆ 床土入れ作業のみ行なう場合は、積上げ枚数を2~3枚迄に制限して使用し、こまめに苗箱を取り出しながら作業してください。

## AUTOハコツミの配線図



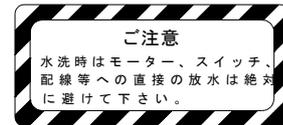
## 作業後の手入れ

### 重要

- チュウイマーク（ミズ）を貼付している箇所と、オートストップの部分には電装品が入っていますので、水をかけますと故障の原因となります。

#### ◆ 水洗いについて

チュウイマーク（ミズ）を貼付している箇所と、オートストップには水をかけないように注意してください。



チュウイマーク（ミズ）

### ⚠ 注意

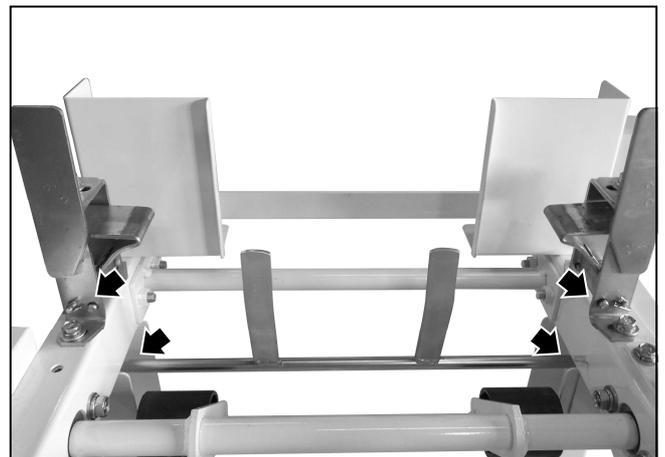
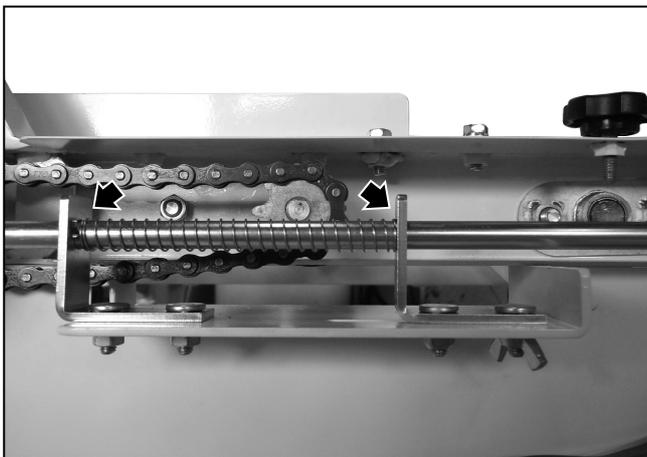
- 水洗いは電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

#### ◆ 注油について

水洗いを行った後は、カバーを開けて良く乾かしてから各軸受け、チェーン、クラッチ部及び矢印部（▶）に注油してください。

### ⚠ 注意

- 注油の際は、電源プラグを必ずコンセントから抜いて作業してください。感電する恐れがあります。



# 不調の発見と処置

●不調が発生したら、すぐその原因を調べて処置をし故障を大きくしないようにしてください。



◆掃除・点検・調整・整備は、電源プラグをコンセントから必ず抜いてから行なってください。

## 苗箱が横方向にずれる

原因(点検箇所)	処置	参照ページ
● 苗箱の不具合又は不良。	● 適した苗箱に交換する。	P. 5・6・9
● 積上げ調整が悪い。	● 適正寸法に調整する。	P. 5・6

## 苗箱の一部が上がらない

原因(点検箇所)	処置	参照ページ
● ツミアゲカナグの動きが悪い。	● 泥やゴミを取り除き、注油する。	P. 8・10
● ツミアゲカナグが変形している。	● 部品を修理又は交換し注油する。	P. 6・8・10

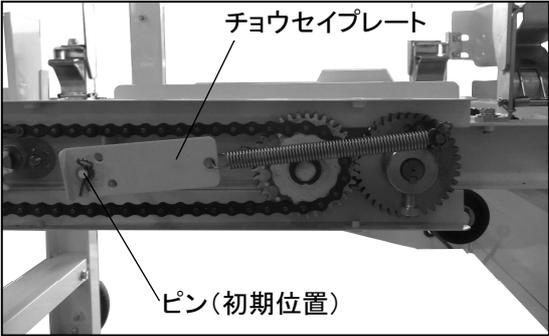
## ギヤードモータが動かない

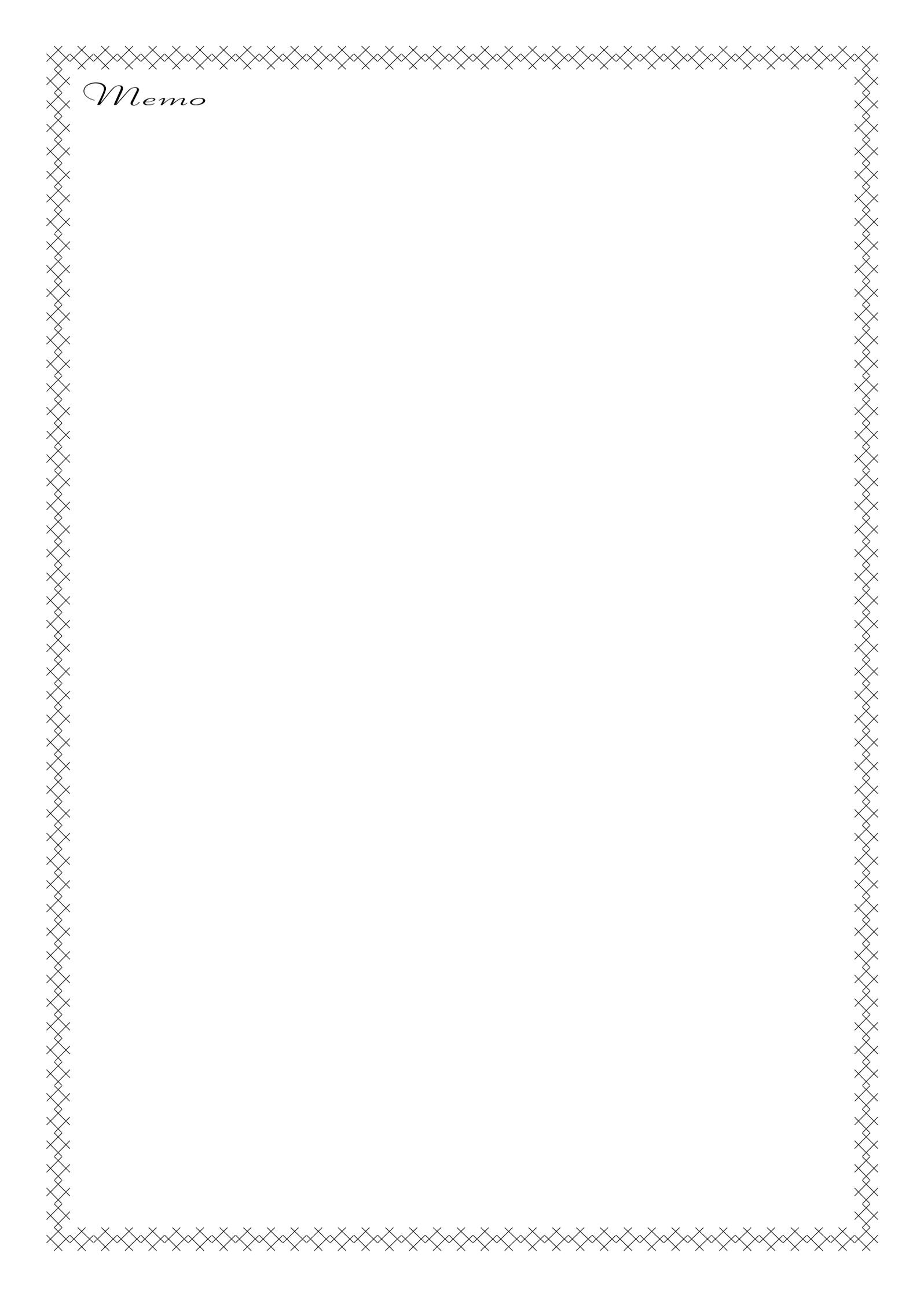
原因(点検箇所)	処置	参照ページ
● 電源プラグが抜けている。	● 周囲を確認の上、コンセントに差し直す。	P. 7
● ギヤードモータ部、電源スイッチ部の故障又は配線の断線(切断)	● 販売店に連絡をする。	P. 9
● 伝導チェーン部に異物が挟まっていないか。	● 異物を取り除き注油する。	P. 8・10
● 苗箱の積み重ね枚数10枚以上、又は重量オーバーしていないか。	● 高さ制限装置のオートストップを確実に取付ける。	P. 7
	● 苗箱は5～10枚迄の範囲で調整します。	P. 7・9
	● 苗箱積上げ量は最大60～65kgを目安に調整します。	P. 7・9

## クラッチが作動しない

原 因(点検箇所)	処 置	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>● リンクCに当たってはいるが、最後まで押し切れていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ガイドAの位置を調整してバネを弱めてください。</li> </ul>	P. 6・8

## クラッチが切れない

原 因(点検箇所)	処 置	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>● リンクCが倒れたままになっている。</li> <li>● クラッチが作動していないのにカチカチ音がる。 又、苗箱が来ていないのにクラッチの入り切りが頻繁に起きる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ガイドAの位置を調整してバネを強めてください。</li> <li>● ピンをチョウセイプレートの別の穴に掛け替える。(写真参照)</li> </ul> 	P. 6
<ul style="list-style-type: none"> <li>● クラッチやリンクに、ゴミが挟まっていたり、泥等が付着していないか。</li> <li>● クラッチやリンクが、錆びていたり、摩耗や変形などしていないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 泥やゴミを取り除き、清掃後に注油する。</li> <li>● 部品を修理又は交換し注油する。</li> </ul>	P. 8・10  P. 8・10



*Memo*

# お客様へ

ご使用の機械についてわからないことや故障が生じたときは、下記の点を明確にして、お買いあげ先へお問合わせください。

- ご使用機の型式名と機体番号(製造番号)は………?

型 式

機体番号(製造番号)

- ご使用状況は………?

- どのくらい使用されましたか?

- トラブルが発生したときの状況を、できるだけ詳しくお教えてください。



どんなに小さなことでも、  
お気軽にお問合わせください。

(ご相談窓口) お買いあげ先

T E L ( )

**AUTOハイツ**

**AH-404N**

1277 8211 000

2019年9月 初版